



# 学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和2年5月11日 No.4

## 《1日も早い再開を願っています》

5月になりました。初夏を感じさせるような晴天が続いています。例年なら、校舎や校庭に子供たちの元気な声が響いている学校が今は静まり返っています。臨時休校延長が決定し、学校再開がまた遠のいてしまったことは本当に残念です。6月1日から学校再開ができることを願うばかりです。

5月13日（水）から、学級担任より各ご家庭に電話連絡をさせていただきます。ほんの短い時間ですが、お子さんや保護者の皆様とお話させていただくことで、担任は安心感とともに嬉しい気持ちになります。保護者の皆様には、学校に連絡がある際に、5月13日（水）から5月22日（金）までの間、電話がつながりにくいことがあり、ご不便をおかけします。どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

また、保護者の方とお会いすると、再開後の学習等について心配されているご意見があります。保護者として、当然の思いです。学校として再開後の授業時数の確保、学校行事の見直し等に取り組んでいます。

前回、学習課題を届けるために各ご家庭をまわりました。その時、お子さんとわずかな時間ではありますが、お会いできたことを職員室で話す先生方の顔は、嬉しさでいっぱいでした。

さて、児童の皆さん、毎日の生活はどうか。自分のめあてを決めて振り返ることはできていますか。普段なら当たり前にあった学校生活が、登校できなくなった日々の中で、何か学んだことはありますか。

今は感染予防が第一です。児童のみんなが自分なりに密を避ける生活はできていますか。「これをすれば密になるなあ」と考えられるようになりましたか。

「これをすればどうなるのか」「だから、これは止めておこう」といった判断力や想像力。「今日はこれをする」「今日はここまでする」といった自己決定力。そのような力が今の不自由な生活の中で身に付けられる機会なのかもしれません。これからも、めあてを決めて振り返ることをしてみてください。

保護者の皆様、臨時休校が延長されたことにより、引き続き、大変なご負担をおかけします。繰り返しになりますが、感染予防を第一に、私たち一人一人ができることを続けていきましょう。どうぞよろしく申し上げます。

## 《ピンチをチャンスに！親子ふれあいのすすめ》

時間がある今だからこそ、できることに取り組んでみてはいかがでしょうか。親子で本を読んだり、一緒に運動したり、近所を散歩したり、楽器を演奏したり、会話を楽しんだり……。お子さんの意外な一面を発見できるチャンスかもしれません。じっくりお子さんと向き合う時間を、時には楽しんでください。

## 《家族の一員という意識をもたせてください》

学校では、「掃除当番」「給食当番」「係活動」や「委員会活動」など決まった仕事が一人の児童に任される場面が多くあります。子供たちは、学級のために、学校のためになる仕事を任されて所属意識が芽生えます。さらに、ほめて認められることで、「頼りにされた」「任せてもらえた」「自分にもできる」という自己有用感が育ちます。

家族で過ごす時間が長い今だからこそ、子供たちにご家庭の仕事を任せ、できたことをほめて認め、家族の一員であるという意識と自己有用感を育てるよい機会です。

そして、次のような内容で取り組まれている保護者の方がいます。参考にご家庭でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

① やり方を伝授する。（各家庭の秘訣があれば伝えてください。）

② 一緒に2・3回行う。（仕事によっては1回でもOKです。）

③ 一人でできるようになったと思わせる。

（このとき合格テストがあると良いです。さらに「うれしいよ」「助かるよ」「すごいなあ」というメッセージ、ほめることも忘れずをお願いします。）

④ 1週間ほど任せてみる。

⑤ 正確に早くできるように子どもなりに工夫させる。

（ここが大事。工夫することもなく同じ仕事をさせると長続きしません。）

⑥ 頃合を見て、一緒に行う。

（ここでバージョンアップした仕事ぶりをさらに「そんなやり方もあったんだね」「こうすると早いねえ」共感してほめる。）

⑦ 完全に任せる。

子供たちは本来、新しいことにチャレンジするのが大好きです。現在しているご家庭の仕事の他にも、様々な仕事をさせながら親子でふれあう時間とするのもよいですね。

松下電器産業の経営者「松下幸之助」さんの「春を楽しむ心」という詩を偶然目にしました。下線は私が引きました。この部分が、特に印象に残りましたのでご紹介いたします。

### 【春を楽しむ心】

草木は芽を出し 蕾はほころびて伸び伸びと成長する春の季節

春はまさに万物成長のときと言えるでしょう

私たちはこんな春を迎えて 大いにこれを楽しみ

大いに成長していかなければならないと思います

春を楽しむ心は 人生を楽しむ心に通じます

長い人生には ときには不愉快なこともあり 面白くないときもありますが

春を楽しむように人生を楽しむ心があるならば

やがてまた春のそよ風のように 心もやわらいで 生きがいも感じられてきます

そして野山の樹々が一年一年と年輪を加えていく如く

お互いの心も 去年より今年 今年より来年と 一年一年成長していくと思うのです